


様式第二号の八（第八条の四
の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 16 日	
茨城県知事	殿
	提出者 〒110-0014 住 所 東京都台東区北上野 2-23-5 住友不動産上野ビル 2 号館 氏 名 (株) N I P P O 関東第二支店 執行役員支店長 丹 晴彦 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-4582-1062 担当課;環境安全 G
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	関東第二支店茨城県内各工事現場（水戸市を除く）
事業場の所在地	茨城県内各所（水戸市を除く）
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	前年度の工事売上高： 7 7 億 9 千 2 百万円
③従業員数	4 5 人（在籍社員数）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-処理工程図(後頁参照)

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・建設混合廃棄物の発生場所での分別を徹底する。 ・廃プラスチック類について、再生可能物と再生不可能物を分別し排出する。
-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全ての産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	
	(これまでに実施した取組) ・ 自社においてがれき類の中間処理を行い、再生品を自社で使用するとともに、製品販売を行った。 ・ 県内の自社の中間処理施設が平成30年度にすべて子会社化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全ての産業廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	
	(今後実施する予定の取組) ・ がれき類の処理状況及び維持管理状況のシステム管理を徹底する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全ての産業廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	
	(これまでに実施した取組) ・ なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全ての産業廃棄物	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	

		(これまでに実施した取組)
--	--	---------------

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全ての産業廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	42456.00 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	804.00 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	41652.00 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	
	(今後実施する予定の取組) ・がれき類の維持管理状況のシステム管理を徹底することにより、委託処理量の減少を図る。 ・廃プラスチック類の発生事業場での分別を徹底し、委託処理量の減少を図る。又、再生利用ができる処理業者への委託を目指す、焼却処理する場合においても熱回収の認定を受けた処理業者へ委託を行うよう検討する。		
	※事務処理欄		

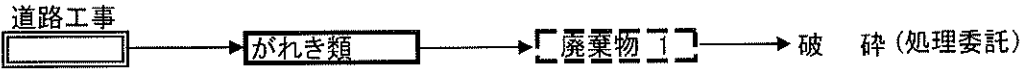
産業廃棄物処理計画書

[illegible]

処理工程図(1)

出張所 A、B、C 他 建設現場

〇〇市A現場 他



〇〇市B現場 他

